

リトス幅徑ノ最大ナル者ハ〇、〇二〇六最小ナル者ハ
 〇、〇一三〇ナリ而メ其平均ノ大サハ〇、〇一六八密迷
 ナ算セリ(計算ハ成丈細密ニ檢セシト雖モ虫体ノ伸縮、
 卵ノ位置方向ニ由テ同一ノ者ト雖モ多少ノ差ヲ生スル
 ハ免ルヘカラサル事ナリトス)

以上論述セシ處ヲ總括シテ其要ヲ掲クレハ左ノ數件ニ
 過キス

(一)石川縣河北郡ハ確カニ地方性肝ジストーマノ流
 行地ナルコト

(二)ジストーマノ蔓延ハ該地方ノ飲用水、河北瀉ニ生
 スル魚貝類ニ關係ヲ有スルコト

(三)河北郡ノ「ジストーマ」ハ余ノ考ニ由レハ餘リ古ク
 ヨリ存在セサルコト(多クトモ二十年以下)

(四)河北郡ノ「ジストーマ」虫ハ岡山地方ニアル者ト同
 一ニシテ Baelz 氏ノ所謂 *Distoma endemicum* ナルコト

(論説及實驗)

金澤醫學會雜誌

第三卷第十九號

(百四十九)

(五)該虫ノ刺戟ニ由テ胆管肥大擴張シ葉間結締織ノ増
 生若クハ圓形細胞ノ侵潤ヲ見タルコト

(六)患者ハ既往ノ問診及現症中悉ク「ジストーマ」下痢
 ナ有セルコト

(七)今日ノ如キ未タ大流行ニ至ラサル前ニ於テ世人ノ
 腦裏ニ「ジストーマ」ノ害毒ナルコトヲ銘印シ適當ノ
 方法ヲ以テ之レヲ豫防スルノ必要ナルコト(其方法

ハ金澤衛生支會ノ雜誌ニ掲ク)

(附言)右ノ記事ハ昨年十二月起稿セシ者ナルカ其後
 又一名ノ「ジストーマ」患者ヲ剖檢セリ其解剖的所見

ハ大抵同一ナリト雖モ以上ノ者ニ比スレハ稍々高度
 ナル者ナリキ尙ホ機ヲ俟テ報告スヘシ (終)

◎兩眼虹彩全缺如症

Der volkstændige

Irismangel

(Aniridia, S. Iridemia totalis)

會員

吉田茂人

余ハ同胞諸君ニ先天性虹彩全不足症ノ一患者ヲ報告スルノ機會ニ接セリ本患者ハ金澤病院眼科部ノ外來患者トシテ診定スルヲ得タル者ニシテ既往四年間外來ノ虹彩疾病患者總數百七拾四人ニ就テ本患者一人ノ比例ナリ勿論從來諸大家ノ報告アル爲ニ奇異ナル症ト稱スルヲ得スト雖氏余ニ於テハ本患者ヲ診スル實ニ今回ヲ始メナレハ須ラク珍シキ者ト想ヒシナリ之レ不才ヲ顧ミス報告スルコトナセリ

抑モ虹彩缺亡トハ名ノ如ク虹彩欠亡シ瞳孔ヲ見認メサル者ナリ之レニ其組織全ク存セサルト亦其一部ヲ殘ス者トアリ甲チ全缺亡乙チ不全缺亡ト稱ス既ニ古キ「リテラツール」ニアル如ク全缺亡ハ不全缺亡ヨリ却テ多シト云フ Gscheidl 氏ハ數多ノ實驗ヲ報告セリ然レモ解剖的ノ証明寡ナキカ故ニ其果シテ全缺亡ナルヤ否ヤ悉ク之ヲ信スルコトヲ得ス何トナレハ肉眼ノミニ由テハ充

分之ヲ確信スル克ハス全不足ト想ヒツ、アル者モ解剖的檢査ニテ或ハ細ク糸ノ如ク存在スルヤモ期シ難キヲ以テナリ本患者モ亦余ノ心ノ及フヲテ精密ニ檢シテ全不足ト定メシ者ナレモ解剖的ノ檢閱ヲ得サレハ尙ホ幾分ノ疑團ナキ能ハス

本病ノ原因ハ先天性或ハ創傷性ニ發ス例之ハ頭部ニ劇烈ノ慮盪ヲ受クル際ニ發スルカ如シ

(合併症)ハ先天性ノモノニハ他ノ先天異常ヲ兼ヌルアリ例ヘハ角膜變形縱階圓強度ノ彎曲屢々「カタラクト」ヲ合併ス(先天若クハ後天性)前或ハ後極白內障アリテ屢々水晶体ノ赤道部ヨリ中心ニ向ツテ無數ノ白線集合シ蓋シ此白線ハ主ニ皮質ノ後層ニ存在ス本患者モ其訴フル所ニテハ先天性ナラン加之ナラス白內障ヲ合併シ是ニ記載スル光線狀ノ白線判明ニ顯ハレ其外貌ノ奇異ナルト視力ノ善良ナル杯ハ眞ニ實驗上ニ價直ヲ與ヘタ

ル者ト思ヒタリシ

〔患者〕 在金澤住 三拾五年五ヶ月ノ女子

本患者ハ既ニ兩親ニ離レタル身ナレハ幼時ノ現狀ヲ明
ラカニ知ルヲ克ハサレ凡只亡父母ノ話頭ヲ記憶シアル
程ヲ聽得タリキ。生後三日間ハ眼ヲ開カス其日温浴サ
セシニ細ク眼ヲ開キタリ其後一週間余開カズ終ニ尋常
ノ人トナルカ爲ニ醫療ヲ要セス成長スルニ從ヒ毫モ不
便ヲ感セス眼ニモ意ヲ留メス歩行モ尋常ノ如ク始メタ
リシト。七才ノ頃ヨリ習字ヤ縫裁ヲ修メ百人一首女大
學杯ヲ讀ムヲ得固ヨリ目今ノ如キ教育ヲ受ケシニア
ラス體カニ年限ハ覽エスアレ凡八九才ノ頃カ物體ヲ着
視スルニ都合惡キヲアル爲ニ一醫ニ診テ乞ヒタレ凡畸
形ナルヲ聞ス今日診察ヲ乞ヒ物ノ以外ニ驚ケリト云
フ(或ハ然ラン本患者當時有夫ノ婦ニシテ家政ヲ堅固
ニ取扱アル者ナレハナリ)

(自覺症) 太陽ノ眩ク場所ニテハ羞明ノ爲仰視スルヲ
得ス流淚ヲ起ス如シ燈火ノ照ス所ハ羞明ナシ視力ハ
眼屈折異狀ナシ「ス、ネ、ル、レ、ン」氏試視力表兩眼各々六拾
分ノ六ナリ以テ平素患者ノ大ナル不便ヲ醸サ、ルハ想
像スルニ足ルヘシ

(現症) 兩眼共ニ本症ニ於テ差異寡ナシ只合併症タル白
内障々於テ左眼ハ右眼ヨリモ多シ故ニ左眼ニ就テ説明
ス

角膜ハ圓形透明其直形九「メリメートル」ニ斜照スレ
ハ只極々表層殊ニ内上方ニテ不規則ナル薄キ白色ノ曇
翳ヲ呈ス水晶體ハ前面ニ於テハ赤道部ヨリ中心ニ向ッ
テ光線狀ニ集合スル灰白色線ヲ顯ハシ中心ハ全ク透明
ナリ實質ハ悉ク玲瓏透明ニシテ後面ハ一般ニ灰白色霧
狀ニ混濁ヲ呈シ稍内下方ニ於テ不正ナル一孔ヲ存スル
如ク透明部アリ其混濁ハ水晶體ニ局在ス亦水晶體ヲ圍

繞スル細キ輪狀ノ透明部アリ瞳孔ハ勿論存セス固ヨリ虹彩ハ類ニ汗ヲ流シテ檢スルモ見出スコト能ハサリキ眼底ハ乳頭部ノ健康ナルヲ記スルヨリ外ハ視ルコト能ハス之ニ加フルニ眼球ハ横徑ニ慮動シ意識ニ由テ隨意ニ停止スルコトヲ得ス

(診斷)先天性虹彩全缺亡(合併症)水晶囊白内障、眼球横徑慮盪症

◎精虫検査法ニ就テ(續)

會員 飯森益太郎

裁判醫學上精液ノ存在部ハ前號ニモ述ヘタル如ク腔内ヨリ得ルコト稀ニシテ其近部ヨリスルコト多シ Pfaff氏(Das Haar in foiens. Beziehung. Leipzig 1869, P. 79)ハ屢々陰毛ニ乾涸セシ粘液ヲ檢査シテ精虫ヲ發見シタルコトヲ報告セリ

通例精液ノ附着スル處ハ外陰部、肛門内、男子ニアリテハ中樞ノ陰莖ニ對スル部、女子ニアリハ下紐ノ臀部ニ當ル處及ヒ陰部拭淨ニ用ヒタル紙片、褌袴ノ下部等ナリ Langier氏(Ann. d'hyg. Publ. 2 ser. XLVII. 150)ハ屢々精液痕ヲ強姦ヲ行ヒシ處ノ床板ヨリ發見セリト云フ
衣帛等ニ附着セル精液斑點ノ外見ハ地圖狀ノ周圍ヲ有シ屢々縁ニ於テ暗キ陰形ヲ具ヘ強キ光線ニ逢フキハ固有ノ反射ヲナシ濕潤シタル指ヲ以テ強ク摩擦フルトキハ一種ノ臭氣ヲ放ツ者ナリ然レトモ是等ハ以テ其檢法ノ確實ナル者トナス能ハス之レヲ確カニ斷定セント欲セハ強力ナル顯微鏡ヲ用ヘ精虫ヲ發見セサルヘカラス Boettcher氏カ乾燥シタル精液中ヨリ發見セシ蛋白ニ屬スル精液結晶ノ如キハ診斷上要々ノ者ニアラス之レ他ノ蛋白質含有ノ分泌物ニ於テモ同一結晶ヲ構成シ得レハナリ加之乾涸精液中ニハ多量ノ磷酸鹽類存在シテ之